

ともにあゆむ

日本母親大会in東京でアピール

8月24・25日に開かれた第59回日本母親大会に梅村さんも参加してきました。

1日目の全体会会場は、幕張メッセ。支援者の方たちと一緒に裁判支援お願いのチラシと署名用紙を配布しましたが、準備した1500部はあっという間になくなりました。

全体会参加者は、7500名。原発、憲法改悪、TPP、オスプレイ、消費税のたたかいや、リストラ・派遣切りなどの争議の先頭に立って頑張っている女性たちのパワーに、元気をもらってきました。

2日目は、「ふえる心の病-私らしくいきいきと働きつづけるには-」という梅村さんにぴったりの分科会に参加。発言の機会も得て、民主的医療機関であるはずの南医療生協で起きている職員の労働強化、それによる健康破壊、そして、梅村さん自身の裁判についても話しをすることができました。

「労働局が認めている労災を認めない一方で、医療費は労災保険で請求し、受け取っている」「メンタル疾患を患う職員が多く、中には在職自殺も」「労働者が分断されて、労働組合の組織率も8割から3割に」という発言に、「えっ!」という驚きの声が上がりました。

しかし、参加者からは「私も医療生協に勤めているが、メンタル患者が増えている」など、厳しい医療労働環境だけでなく、民主的といわれる職場でも「がんばる人」が次々と倒れている実態が出され、午前午後の討論を踏まえて、右記の申し合わせ事項を確認しました。

大会会場で配布した署名用紙は、いま全国各地から送られてきています。

第59回日本母親大会16分科会 申し合わせ事項

- ・長時間労働・パワハラのない職場に変えていきましょう。
- ・職場の安全衛生委員会の開催と活性化をしていきましょう。
- ・家庭・職場・地域で対話し、寄り添える関係をつくっていきましょう。
- ・仲間の声を活かした労働組合活動にいきましょう。
- ・互いの価値を認めあえる、人減らしい働き方を実現しましょう。



救 国民救援会「救援学校」でも訴え

8月20・21日に岐阜県海津温泉で開かれた国民救援会愛知県本部主催の「救援学校」にも、梅村さんが参加しました。「人権を守るたたかいあるところに救援会あり」と弾圧事件・冤罪事件・国や企業の不正に立ち向かう人々を支えて85年の救援会の歴史を学び、多くの先輩方との交流もできました。

「南生協はいったいどうなってるの!？」という疑問にも答え、2日目には裁判支援の訴えもしてきました。



次回裁判

9月19日(木) 午後2時
名古屋地方裁判所2階201号法廷

※裁判後、桜華会館にて報告交流集会を行います。

↓愛知争議団で一緒にたたかっている仲間のシンポジウムです。ぜひ、ご参加ください！

☆9.16 障がい者の「はたらく」シンポジウム☆

社会の障壁をなくす

豊かに生き、働く、一步を進めよう

2013 年

9月16日

(月曜日・祭日)

午後1時～4時

労働会館東館ホール



参加協力費 500円



☆オープニング：ピアノ演奏
鬼頭智子さん

第8回全日本ソリストコンテスト受賞 名
フィル共演、現在カワイ音楽教室講師

☆講演：

**障がい者の
「はたらく」を
保障する**

障がい者権利条約の批准をみすえて

伊藤修毅（ナオキ）さん

北海道立高等養護学校教諭の後、立命
館大学大学院社会学研究科修了、現在
日本福祉大学助教

☆シンポジウム シンポジスト

「新日鉄住金」障がい者差別裁判

原告 **鳴海 顕さん**

労災で左腕切断・右指切断のなか、定
年まで働き続けましたが、会社は障害
を理由に賃金差別を続けたことに対し
提訴。裁判では会社は露骨な障害者差
別発言を行っています。

NPO法人夢工房（就労継続支
援A型事業所）

代表 **小邑 弘光さん**

事業所の現状を報告。

愛知県障害者(児)の生活と権利
を守る連絡協議会

副会長 **上田孝さん**

障害者の働く現状を報告。

主催：9.16 障がい者の「はたらく」シンポジウム実行委員会
連絡先 〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-3
労働会館本館 306号 愛知健康センター
電話052-883-6966 FAX 052-883-6983

共催：愛知県障害者(児)の生活と権利を守る連絡協議会
愛知 働くもののいのちと健康を守るセンター
愛知争議団連絡会議
新日鉄住金名古屋人権裁判を支援する会

協賛：愛知県労働組合総連合（愛労連）